授業名	**環境学入門**		
英文授業名 ※大学によっては英文成績通知書の記載のために必要となりますので，必ずご記入ください。	An Introduction to Environmentology		
開講期間	2026 年度 前期		
単位数	2 単位		
授業提供大学	信州大学		
主担当教員氏名	小林　一樹 他		
副担当教員氏名	佐々木　康浩・勝亦　達夫		
授業のねらい ※該当しないもの行は削除してください。 ※授業で得られる地域活性化人材の能力と対応するように本授業の達成目標を設定してください。 ※「～することができるようになる」「～することができる」という形での目標設定を推奨します。	授業で得られる 地域活性化人材の能力	⇔	本授業の達成目標
	α　信州の活性化に係る知識・技能	⇔	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力
	β　信州の活性化に係る課題を発見・解決するための思考力・判断力・表現力	⇔	持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力
授業の概要	人間の活動により自然環境の改変・破壊が進み，地球の温暖化をはじめとする数々の環境問題を生じさせる一方で，社会生活が多様化，複雑化することにより，社会環境も複雑化・不透明化しています。本講義では，自然及び社会の両面にわたる環境諸問題を環境学の視点から学びます。環境という包括的なキーワードにより複合的に眺め，安全で安心，かつ文化的に豊かで持続可能な地球・都市・社会について考えることを目的とします。また，セイコーエプソン株式会社が取り組む「循環型経済」を支える環境技術開発を通して，自然環境の尊重と企業活動の両立のための具体的アクションについて学ぶ。		
授業の計画	第 1 回	「地球環境学」入門	
	第 2 回	地球の物質循環	
	第 3 回	地球上の資源	
	第 4 回	化学と環境	
	第 5 回	海洋を考える	
	第 6 回	極限環境	
	第 7 回	ジオエンジニアリング	
	第 8 回	「自然地理学」入門	
	第 9 回	大学周辺の自然環境を知る	
	第 10 回	自然災害に備える	
	第 11 回	「環境デザイン学」入門	

	第 12 回	都市と自然環境
	第 13 回	人口減少社会のまちづくり
	第 14 回	地域理解と見える化から将来を描こう
	第 15 回	エプソンの環境経営～人と地球を豊かに彩る～
評価 ※100 点満点の点数をどのように付けるのかを記載ください。(小テストの回数や配点等)	授業時に課される講義内容の理解度をチェックするために出される問いや，小レポートの合計点を 100 点満点に換算して評価します。課題の解答から講義内容の理解度を判定し評価します。小レポートは，①課題の求めている要素を含んでいることを判定し，②論理的に文章が構成・展開されているか，③自分なりの視点を持ち，課題を考察しているか，という観点から評価します。	
事前事後学習の内容	「環境学入門」は，環境システム、環境デザイン学、および地理学の三つの主要なトピックに沿って，様々な学際領域を扱います。授業で扱うトピックに関連するトピックに即して，インターネットだけではなく本や新聞も駆使して理解を深め，自身の考えをまとめる作業を行い，授業内で使用された用語や概念を定着させます。	
履修上の注意	基礎知識は必要ありません。数式も極力使いません。講義内容を包括する教科書はありませんが，文・理系問わず，工学に興味のある学生の履修を歓迎します。	
教科書	なし	
参考書	地球環境学入門（講談社サイエンティフィク，山﨑友紀 著）	